

# 【北海道経済産業局長賞】

## 《地域でがんばる中小企業・小規模事業者》

### ○株式会社ADM

北海道伊達市北稀府99番地の5  
代表取締役 仁村 優治  
<http://kkadm.web.fc2.com/>

#### （会社概要）

昭和63年に伊達市で現代表の仁村優治氏が土木工事建設業を創業。当初は建設業メインで稼働していたが、現在は大型仮設上屋の製造・リース・販売に特化している。ゼネコンや建築資材リース会社等を通じて、大型建造物の建設・解体、最終処分場等の分野に対して製品を提供している。

#### （選定理由）

株式会社ADMは、独自の開発商品と施工技術にこだわり続け、「大型仮設事業のパイオニア」を目指している。平成18年度に新連携事業の認定を受け開発した大型高気密仮設上屋は建造物の建設や解体等の作業現場における環境悪化を防止し、周辺住民への環境に配慮ができる製品となっている。現在では、震災被災地において導入されており復旧作業に一躍を担っている。

ものづくり

中小企業者



### ○株式会社北国生活社

北海道札幌市西区西町北6丁目1-1  
代表取締役 内藤 大輔  
<http://www.nlife.jp/>

#### （会社概要）

北海道の素材を使った化粧品や健康食品、原材料を扱う商社。取扱う商品は400種類にも及び全国の百貨店や専門店約100社に展開。こだわりの道産商品を扱うことで売上増加につなげている。

#### （選定理由）

株式会社北国生活社は、北海道の豊富な機能性素材を活用して北海道内では化粧品・健康食品メーカーが増えているが、経営基盤の脆弱な中小メーカーがほとんどであり、販路開拓が大きな課題となっていた。同社がこうした企業の商品の営業拠点としてワンストップでPR・販売することで道内取引企業の売上増加に大きく寄与している。

サービス・小売業

中小企業者



### ○有限会社植物育種研究所

北海道夕張郡栗山町中央2丁目45  
代表取締役 岡本 大作  
<http://ikushu.com/>

#### （会社概要）

独自の育種技術を用いた種苗の開発・販売を行っており、種子は北海道をはじめ、米国、ヨーロッパなど海外にも販売している。また、同社が開発した血流改善効果を持つ健康タマネギ「さらさらレッド」は、町内の生産農家により契約栽培され、独自の販路で全国展開している。

#### （選定理由）

有限会社植物育種研究所は、同社が開発した健康タマネギ「さらさらレッド」を栗山町の地域ブランドとして育てるため、町内の生産農家や商工団体、町役場が一丸となって生産、加工、販売、プロモーションに関する取組を実施。特に、①系統物流に依存しない独自の販売網確立、②町内生産農家らの全面協力による生産規模拡大、③町役場による販売促進支援など、町をあげて取り組む「農商工連携」のモデルといえる

地域活性化

小規模事業者



## ○シンセメック株式会社

北海道石狩市新港西2丁目788-7  
代表取締役 松本 英二  
<http://www.synthemec.co.jp/>

### (会社概要)

オーダーメイドで、加工機・組立機・計測機・検査機などの自動省力化設備を開発・製造するほか、多品種小ロットの精密加工部品製造を手がける。顧客は、自動車・住宅・精密・電気電子と多岐にわたる。近年は食品加工機械分野に進出。2013年8月フードマシンセンターを立ち上げた。

### (選定理由)

シンセメック株式会社は、小回りのきく規模で、顧客のニーズを汲み取り、アイデア→設計→部品製作→組立→制御→納入/アフターケアまでを1社ワンストップで対応し、顧客の相談にきめ細かく応えられる強みがある。地域の産学官連携プロジェクトに参加したことをきっかけに食品加工機械分野に進出し、地域の「食分野の高付加価値化」に貢献することが期待される。

ものづくり

中小企業者



## ○株式会社メデック

北海道函館市鈴蘭丘町3番地133  
代表取締役 漆崎 照政  
<http://www.medec-ltd.co.jp/>

### (会社概要)

装置エンジニアリング、部品加工、アプリケーション開発及び各種機器販売を行う総合エンジニアリング会社。半導体製造装置や省力化機械の開発・製造を行い、国内外に販売している。

### (選定理由)

株式会社メデックは、同社社長が機械設計と商社での勤務経験を有することもあり、技術や製品の「自前主義」にこだわることなく、様々な企業との連携により顧客のニーズに答えている。特定の技術分野・製造工程向けに特化するリスクを避け、「商機に賢く」事業を展開している。最近では、画像処理技術を活かした食品・農産物等の検査・選別装置に進出している。

ものづくり

中小企業者



## ○株式会社ほんま

北海道札幌市豊平区月寒東2条3丁目2番1号  
代表取締役社長 本間 幹英  
<http://www.e-honma.co.jp/>

### (会社概要)

創業100年を超える老舗の菓子製造販売企業。銘菓「月寒あんぱん」はロングセラーの定番菓子として北海道民に定着。近年はその伝統の味を守りつつ北海道産食材を使った新しい和洋菓子も積極的に開発し、自社直営店舗の展開にも力を入れている。

### (選定理由)

株式会社ほんまは、伝統の味を大切にしつつ、低カロリーでヘルシーな新商品開発を進め女性顧客を中心に新たなマーケットを開拓している。また、北海道ならではの食材の商品化にも熱心に取り組んでおり、海外市場も展望しつつ新工場を建設するなど今後さらなる飛躍が期待される先である。

サービス・小売等

中小企業者



## ○株式会社丸ヨ吉住商店

北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目5番1号  
代表取締役 吉住 淳男  
<http://numasyou.web.fc2.com/b3/yoshizumisyouuten.html>

### (会社概要)

大正13年創業以来、雨竜郡沼田町にて米穀雑穀集荷販売業を営んでいる。近年、沼田町のブランド米である「雪中米」の海外販路開拓に取り組み、道内で初めて本格的に米穀の輸出(台湾)を実現。また、同社は地域活性化のため各種事業に取り組み、地域発展に寄与している。

### (選定理由)

株式会社丸ヨ吉住商店は、沼田町の特産品である「雪中米」の海外への販売を手がけ、北海道で初めて本格的に米穀の輸出を実現した。その実績を生かして、沼田町、地域の事業者及び農業者が有機的に連携して取り組んでいる「沼田ブランド商品の開発」及び「海外展開事業」について、統括事業者として積極的に取り組んでいる。

地域活性化

中小企業者



## ○丸和信和建設株式会社

北海道標津郡標津町字川北63-5  
代表取締役 田村 正範  
<http://www.shiretoko-shs.jp/shinwa/>

### (会社概要)

昭和48年に信和建設を創業。昭和52年に法人化し、丸和信和建設株式会社を設立した。地元での公共事業や民間工事・住宅の建設などを全般的に行っている。平成21年から地域資源開発部(知床標津マルワ食品)を社内に創設し、異業種分野への事業進出を果たしている。

### (選定理由)

丸和信和建設株式会社は、地元標津町産のブナサケ(産卵後のサケ)を使い、鯉節の伝統技法「手火山造り」の技術を応用し、独特な旨みの鯉節を開発した。(平成21年7月 地域産業資源活用事業計画認定)  
原材料から製造・販売すべてが標津町産であり、役場や漁業協同組合とも連携し、地域ぐるみの活性化策として取り組んでいる。

地域活性化

小規模事業者



手火山造り

鯉節「華ふぶき」



## ○株式会社室蘭うずら園

北海道室蘭市石川町282-5  
代表取締役 三浦 忠雄  
<http://www.uzura.co.jp/>

### (会社概要)

昭和57年の会社設立以来、うずらのヒナの孵化・育成・生産・加工・販売の一貫経営を行ってきた結果、病原菌の侵入がなくワクチンや薬を一切使用しない無投薬飼育を確立した。平成20年に新たな取り組みとして、飼料に有用微生物配合飼料を投入することで、より臭みのないうずらの卵を生産している。

### (選定理由)

株式会社室蘭うずら園は、北海道で唯一うずらの孵化と飼育を行っており、ワクチンや薬を一切使わず飼料に改良を加えた独自技術により、うずら独特の臭みのない卵を作ること成功。その卵を使い、地元室蘭を中心とした北海道産原料にこだわった「室蘭うずらのプリン」を開発した。(平成22年2月 地域産業資源活用事業計画認定)  
室蘭市特産のスイーツとして業界団体との連携により地域活性化を図っている。

地域活性化

小規模事業者

室蘭うずらのプリン

